

は じ め に

平成21年度の徳島県保健環境センターの業務概要と調査研究結果をとりまとめました。

ご高覧の上、率直なご意見・ご指導を賜れば幸いに存じます。

当センターは、昭和58年4月に衛生研究所と公害センターが統合発足し、本県における衛生行政及び環境行政の科学的、技術的中核機関として、「試験検査」「調査研究」「関係情報の収集提供」「技術研修」を4本柱に位置づけ、地域に密着した業務に取り組んでいます。

業務内容としては、保健分野においては、感染症検査、食中毒原因究明調査、感染症発生動向調査の他、食品中の残留農薬検査、遺伝子組み換え等の検査、環境分野においては、大気・水質の発生源や一般環境及び廃棄物に係る監視測定、解体作業現場及び環境におけるアスベスト調査の他、騒音調査、環境放射能調査などに取り組み、県民の健康と安全・安心の確保のため努力しているところです。

また調査研究については、県民ニーズや行政ニーズを踏まえた課題を研究テーマとし、内部・外部評価委員による客観的な評価を受け、鋭意取り組んでいるところです。

特に最近においては、危機管理への対応が非常に重要性を増しており、昨年度発生した新型インフルエンザについては、その検査機関として役割を十分に果たしてきたと考えております。

当センターが関わっている感染症、食品の安全、環境保全はいずれも県民の期待の高い分野であることから、今後ともその重要性を増していくものと思われます。このため、こうした取り組みを、知識、技術の継承を図りながら、関係機関と協力・連携し、積極的かつ着実にその役割を果たしていく所存です。

今後ともなお一層のご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

平成23年1月

徳島県保健環境センター

所 長 庄 野 修